

平成31年度園経営計画書

認定こども園倉吉幼稚園

I 法人の概要

- 1 法人名 学校法人倉吉幼稚園
- 2 施設名 認定こども園倉吉幼稚園（幼保連携型認定こども園）
- 3 代表者 理事長 西田 直美
- 4 住 所 〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町7 4 2 番地 1
- 5 役員 理事 7名 監事 2名 評議員 15名
- 6 理事会及び評議員会 理事会 3回開催 評議員会 2回開催
- 7 職員 27名

正規採用職員		臨時的任用常勤職員			パート職員			嘱託職員	
15		7			5			1	
園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	講師	預かり	土曜日専任	保育補助	事務
1	1	1	1	19	1	1	1	1	1

※臨時的任用職員から2名の正規採用及び事務職員1名の追加。

※7月に育児休暇からの復職職員1名及び7月より産前休暇取得予定職員1名

8 園児数の推移

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	備考
27年度	7	12	16	34	22	24	115	3/1 集計
28年度	9	12	25	29	34	26	133	3/1 集計
29年度	9	18	24	31	26	34	142	3/1 集計
30年度	8	17	23	34	30	27	139	5/1 集計
31年度	9	18	24	26	40	29	146	3/20 集計
30年度利用定員	9	18	24	30	30	30	141	

※31年度利用児数は、3/20現在の申込数です。

II 本園の教育

1 教育方針

個人差の著しい乳幼児期の特性に配慮し、集団の中における子ども一人ひとりの育ちと大切に
向き合い、共同体志向による教育・保育を創造しながら“生きる力の根っこづくり”を目指す。

2 めざす子ども像

- よくおぼえ みんなと たのしむ 子
- よくつかい じょうずに かたづけのできる 子
- よくみ よくきき ところをうごかすことのできる 子

3 重点目標

(1) テーマ「生きる力の根っこ育て」

(2) 4本柱と実際の取り組み

①「丈夫な身体をつくる」

・「土踏まずと下あご」の形成を目指して」の研究推進～専門家を巻き込んで～

②「脳を鍛える」

- ・SI あそび ギルフォード博士の知能構造理論に基づく知育教材の展開
- ・自分をつくる仕事 教育構想に基づき、子ども一人ひとりの力のとりこぼしをしない教育展開

③「五感力を育てる」

- ・自然体験活動 打吹山をステージとした保育展開と稲作牛舎体験を軸とした農業体験

④「感性を培う」

- ・“輝く大人との出会い” 事業 各界の第一線で活躍するプロとの出会いをコーディネート

Ⅲ 事業概要

1 保育時間（開園時間：7：30～18：30）

- (1) 1号認定児 7：30～15：00（月～金）15時以降は預かり保育
- (2) 2号3号認定保育標準時間児 7：30～18：30（月～土）
- (3) 2号3号認定保育短時間児 7：30～16：00（月～土）16時以降は延長保育

2 納付金

- (1) 1・2・3号認定児の保育料は、市町村の基準による前年度の所得に応じた応納制
- (2) 1号認定児は、別途実費徴収

給食費：5,000円、教材費：1,100円、施設・設備費：1,000円、行事費500円 学級費：400円、カミカミおやつ代：100円、教育充実費：400円 合計8,500円

※10月1日より幼児教育無償化に伴う給食食材費を中心とした見直し

- (3) 園バス利用児は、月額2,000円（第2子以降半額）の利用料徴収
※園バス運行委託事業者・・・(株)アサヒクリエイティブ 取締役・岡田真樹さんへ
- (4) その他、PTA会費、制服・保育用品・保険・検査代等を徴収

3 ハートキッズ（預かり保育）・延長保育

区分	名称	対象児	利用時間	利用料（予定）
1号認定	ハートキッズ	教育標準時間利用児	15：00～18：30（月～金）	200円/回（おやつ代込み）
			7：30～18：30（土曜日）	300円/回（おやつ代込み）
2・3号認定	延長保育無	保育標準時間利用児	7：30～18：30	無料
	延長保育	保育短時間利用児	16：00～18：30（月～土）	200円/回（おやつ代込み）

※単独事業としての積年赤字を解消に向けた動きによる値上げ。（利用数の減少もねらう）

4 給食

- (1) 3号認定（0～2歳児）・・・月曜日～金曜日まで完全給食を提供
- (2) 1号2号認定（3～5歳児）・・・水曜日はお弁当持参・水曜日を除く月～金曜日は完全給食

5 園バス運行路線

- (1) 1番コース 見日町→巖城→上北条→清谷→上井→八屋→下余戸→米田町→下田中→駄経寺→昭和町→宮川町→湊町→東町
- (2) 2番コース 不入岡→福光→秋喜→西倉吉→生田→上古川→長坂町→みどり町

6 休業日（平成31年度予定）

- 日曜日・祝祭日・代休日
- 学年始休業日 4月1日～4月3日 ○夏季休業日 7月27日～8月31日
- 冬期休業日 12月25日～1月5日 ○学年末休業日 3月25日～3月31日

7 子育て支援事業

(1) くらっぴいひろば（未就園児教室）

- 開催日時 毎週金曜日 午前10時より
- 開催場所 倉吉幼稚園
- 参加対象 未就園児とその保護者
- 参加費 年会費 500円
- 内 容 就園を前にした子どもたちが幼稚園カリキュラムを体験したり、集団生活の雰囲気味わう空間の提供と保護者同士の情報交換の場となっている。

(2) 一時保育

- 対象児 満1歳から就学前までの未就園の児童
- 利用日 平日のみ（長期休業期間中【夏休み・冬休み・春休み】の一時保育については、要相談）
- 利用時間 午前8時30分～午後5時
- 保護者負担金

区 分		3歳未満児	3歳以上児	給食	おやつ
1日	(8:30～17:00)	2,500円	2,000円	○	○
半日	(8:30～12:30)	1,500円	1,200円	○	○
15日/1月以上利用		上限 37,500円	上限 30,000円	○	○

(3) その他

- 教育相談 保護者の不安や課題に対応したカウンセリング（随時）
- 講演会 各方面から講師を招聘し子育てのヒントとなる講演会を開催

8 主な年間行事（年3回足型測定・年1回歯列撮影・咀嚼力判定・運動能力テスト）

月	行 事	月	行 事
四月	・1学期始業式・入園式・PTA総会 ・森田さやかWS・じゃがいも植え・しいたけ植菌 ・体力測定・親子遠足	十月	・運動会・芋まり遠足・冬服更衣・栗林孝之WS ・冬服更衣・体力測定
五月	・夏服更衣・園医検診・文庫まつり・歯科指導 ・親子遠足・牛舎体験・木村研WS ・すもう大会・薩摩芋植え・戸田賢コンサート	十一月	・人権司教育参観日・焼き芋パーティー ・はたこうしろうWS
六月	・歯科検診・プール開き・自主公開研究発表会 ・木村太亮WS・SIあそび参観・田植え ・バザー大会	十二月	・お楽しみ発表会・もちつき・牛舎体験 ・2学期終業式
七月	・七夕コンサート・じゃがいも収穫 ・金斗欽WS・お泊まり保育 ・親子陶芸教室・1学期終業式・家庭訪問	一月	・3学期始業式・とんどまつり ・木村太亮WS
八月		二月	・豆まき・新入園児健康診断 ・作品展・お古屋さんごっこ ・親子ふれあい参観日
九月	・2学期始業式・吉村真由美靴履き指導 ・稲刈り・卒園児司会会・プールおさめ ・アーサー・ピナートWS	三月	・丸山ひろ子WS ・卒園茶会・お別れ会・卒園式・修了式

Ⅲ 31年度の構想に含めた具体的な取り組み

1 確かで豊かな活動の展開

(1) 自然体験活動

- 打吹山を舞台とした自然体験活動
- 「土と命との出会い活動」(関金農園での稲作・椎茸植菌体験並びに牛舎体験)
- 国府農園・園庭菜園での栽培活動 ⇒ 食育活動(おにぎり弁当の日等)
- 自然保育認証制度の活用

(2) 外部人材の積極的活用

- 「本物との出会い活動」書家・画家・イラストレーター・絵本作家・デザイナー・ピアニスト・楽団等、第一線で活躍する大人とのワークショップによる憧れや完成への刺激
- 英語あそびは、本園度より遊びと体験型のしたカリキュラムへの転換と時間数の見直し
- お茶会 1/m(年長)・サッカーあそび 1/m(年長)・タグラグビー1/m(年中)等地域人材活用

(3) 「乳幼児期の生きる力の根っこ育て～土踏まずと下あごの形成を目指して～」

- 「丈夫な身体をつくる」のひとつの窓口として、幼児の心身の醸成に寄与していく
- 12年目を迎えた専門家との連携による研究推進
- 「靴教育」の重要性を保護者・地域へ浸透を加速させていく事業を倉吉市・専門家と組んで推進していく。
- 第11回自主公開研究発表会 平成31年6月8日(土)9:45～
 - ・公開保育・趣旨説明・講演会・シンポジウム
 - ・講師 阿部薫先生 新潟医療福祉大学 教授

(4) 園庭遊びの充実

- 園庭小山の改修と倉庫等の移動による園庭面積の拡充
- 年齢に即した群れ遊びの積極的な展開によるプログラム化への取り組み
- 幼児のあそびの動線と傾向に沿った意図的なあそびの提供と学びの見取り
- 砂場あそびによるあそび学びの実態の把握と環境構成の振り返りと見直しを研究推進事業の中で取り組んでいく。
- 文庫建屋の積極的な活用

2 命を守るための備えを持つ

- (1) 幼児の危機管理対応マニュアルの保持と見直し
- (2) 避難訓練等の実施(毎月)
- (3) 職員研修等による共通理解・共通実践
- (4) 給食でのアレルギー及び離乳食の対応(園内給食委員会)
- (5) 松田園医さんとの連携による健診、救急講座、研究推進、感染症対策

3 保護者の意識に迫る

- (1) 園内の取り組みの見える工夫を“めばえ”“ホームページ・ブログ”で発信
- (2) 研究推進にかかわり、保護者参加行事における子どもを媒介とした啓発とアピール
- (3) 「バザー大会」「にこにこ文庫」「おやじの会」から広がる豊かな活動への支援
- (4) 園の取り組みや子どもたちの前向きな姿を外に向けて広げてもらう

- (5) 意見箱の設置といただいた意見への解決の努力と周知（ご意見受付窓口の設置H26.10～）
- (6) メディアの積極的活用による倉吉幼稚園の発信

4 教職員の資質向上

- (1) 外部研修への積極的参加と園内研修の充実
- (2) 教職員自己評価と面談による個々の目標の設定と業務に係る不安の解消
- (3) 近年の事務的業務の増加をICT化により軽減
- (4) 教職員の保育技術向上のための助成の具現化
- (5) 研究推進に係る活動の継続とデータ収集及び考察と積極的な外部発信

5 保育・教育の充実に向けた環境整備事業

- (1) 屋上ひろばの防水工事
- (3) 文庫建屋階段部分の屋根増築
- (4) 園庭小山の修繕工事

IV 展望と課題

1 展望

- (1) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に伴う諸計画の見直しと実践並びに振り返りにより子どもの実態に沿った計画と評価をしていく。
- (2) 教育構想と改定2年目になる「ようちえんだがだいすき」にいつでも立ち戻り、本園の教育方針の不易と流行を教職員一人一人が精査し、実践を通して確立していく。
- (3) 施設給付費や補助金の有効活用並びに就業規定の見直しなどにより、それぞれが成長していきける職場環境と同僚性の醸成へ向かう。
- (4) 教職員相互の情報伝達による確かな園運営と職責の自覚につなげていく。
- (5) 10月1日より施行される幼児教育無償化による保育ニーズの高まりへの柔軟な対応。
- (6) 30年度に新設なった駐車場の事業経営をはじめ、送迎・訪問者用駐車場等有効活用を図る。

2 課題

- (1) 教職員の自己評価や保護者評価、学校関係者評価（評議員さん）を確実に実施し、結果を工夫しながら活用し、幼児の成長の姿へ反映していく。また、教職員個別面談の実施による？
- (2) 新聞・テレビなどメディアの有効活用による本園教育の発信を行っていく。
- (3) 10月1日より施行される幼児教育無償化により大きく制度が変更されるため、利用者の新区分及び保護者からの利用料の変更等に早めの決定と周知が課題となる。
- (4) 園庭に新設した小山でのあそびが盛んで、盛り土が削り取られて痩せてきているため、盛り土流出防止対策を講じねばならない。